

# KINKO Journal

## 近校ジャーナル

発行所

### 近畿大学附属福山高等学校・中学校

### 第40号

〒720-0835 広島県福山市佐波町389番地 TEL.084-951-2695 FAX.084-951-3581  
URL: http://fukuyama.kindai.ac.jp/

平成23年(2011年)  
2月15日号

## 一年間を振り返って

### 文化祭

本年度の文化祭は2日間実施されました。昨年度よりもより楽しいものにするため、高校生行事では生徒会執行部主催の行事、「逆ミスター&ミスコンテスト」を企画し運営しました。多くの生徒の皆さんが参加して下さり、盛り上がりしました。

文化祭一日目の非公開日は高校生2年生のステージ発表も行われました。ステージ発表は劇や映像、ダンスなど工夫の凝らしてあるものが多く、あつという間に時が過ぎました。

文化祭二日目の非公開日は吹奏楽部によるオープニングセレモニーをはじめ、中学校のステージ発表・調べ学習発表、高校3年生・PTAの飲食店、高校2・3年生の模擬店などが行われ、高校1年生の展示では多くの方が記念撮影をされていました。今年も多くの人が来校して下さり賑わいを見せていました。

今年度の文化祭も皆様のおかげで無事成功をおさめることができました。来年は今年よりもっと楽しめるものになりたいと思いますのでその際には是非来校していただきたく思います。

今年度の文化祭も皆様ののおかげで無事成功をおさめることができました。来年は今年よりもっと楽しめるものになりたいと思いますのでその際には是非来校していただきたく思います。



文化祭二日目の非公開日には吹奏楽部によるオープニングセレモニーをはじめ、中学校のステージ発表・調べ学習発表、高校3年生・PTAの飲食店、高校2・3年生の模擬店などが行われ、高校1年生の展示では多くの方が記念撮影をされていました。今年も多くの人が来校して下さり賑わいを見せていました。

文化祭二日目の非公開日には吹奏楽部によるオープニングセレモニーをはじめ、中学校のステージ発表・調べ学習発表、高校3年生・PTAの飲食店、高校2・3年生の模擬店などが行われ、高校1年生の展示では多くの方が記念撮影をされていました。今年も多くの人が来校して下さり賑わいを見せていました。

文化祭二日目の非公開日には吹奏楽部によるオープニングセレモニーをはじめ、中学校のステージ発表・調べ学習発表、高校3年生・PTAの飲食店、高校2・3年生の模擬店などが行われ、高校1年生の展示では多くの方が記念撮影をされていました。今年も多くの人が来校して下さり賑わいを見せていました。

### 北国研修旅行で学んだ一コマ

12月1日(水)から4日(土)、三泊四日の研修旅行に北海道へ行きました。

「スキー見学コース」の、白銀でのスキー研修は、初心者にとっても魅力的で、もつと滑りたい」とインストラクターの方とも仲良くなりました。スキーやスノーボードだけでなく、人との出会いや生き方を学ぶことが出来た一日でした。

「体験見学コース」では、オルゴール・万華鏡・優佳良織・ムックリ(アイヌの楽器)など、世界に一つの手作りの作品を持ち帰ることが出来ました。



講演をする島崎さん(サッポロピリカコタンにて)

また、サッポロピリカコタンでは、先住民族の生き方について島崎さんから講演をしていただきました。アイヌ生まれの彼女自身が学校教育で「アイヌ」のことを学ぶことがなかったという不合理さを感じました。

(高等学校2学年)

### キャンパスツアー

私たち高等学校1学年は夏真っ盛りの7月24日・25日に近畿大学のオープンキャンパスツアーに参加しました。



ツアーに参加した1年生(近畿大学本部キャンパスにて)

一日目は六台のバスに分乗して近畿大学関連施設・難関国公立大学・関西事業所見学。一号車は関西電力株式会社神戸ランブミュージアム↓近大奈良病院↓近大農学部。二号車は京都大学↓近大医学部。三号車は大阪大学↓アサヒビール吹田工場。四号車は松下資料館↓パナソニックセンター。五号車は大阪府大↓日清食品イノスタントラーメン発明記念館。六号車は大和ハウス工業総合技術研究所↓ミズノ大阪本社。(三号車から六号車は大阪企業家ミュージアムの見学もしました。)

(高等学校1学年)





卒業おめでとう  
校長 榎田 嘉明

卒業おめでとうございます。日本の奇跡の戦後復興。世界をリードする戦後の日本の強大な経済活動力は、会社の命運を分け、自らの将来をかけて、経営の改革、改善に絶えず取り組んできた挑戦者の経済活動によって支えられてきました。



卒業おめでとう  
PTA会長 稲尾 豪一

挑戦とは、リスク覚悟で誰もやらなかった事をやるということ。勇気をもって未知の世界へ一歩を踏み出すことが、人類の生き

ご卒業、おめでとうございます。本校の校訓に、「人に愛される人になろう」とあります。すなわち、嘘をついてはいけない、人に迷惑をかけてはいけない、正直でなければいけない、よく張つてはいけない、素直でなければいけない、自分のことばかり考えてはいけないなど、誰もが子供のころ、親や先生から教わったことです。「人間として正しいかどうか」という単純な判断基準が本校の校訓ではないでしょうか。そして、私たちが失ってしまった美徳の一つに「謙虚さ」があります。つねに控えめに頭を低くし手柄は人に譲って、得意のときこそおのれを抑制して淡々と振る舞う。そちらこそお先にどうぞと互いに譲りあう、つつましい心。生きていくのに、オレが、私が、という自己主張が必要なこともわかりませんが、謙虚さに代表される「美しい心」を忘れないでください。

環境や領域を広げ、さらなる可能性の礎となってきました。そのような先駆者達の成功と失敗が、結果として今日、我々が安全で快適に暮らせる生活空間を実現させてきました。

自分にとって何が幸せにつながるのか、何のために成そうとするのか、これを常に問い返す。主体をもった個人として熟慮を重ねる。決断した後は困難を恐れず一歩を踏み出す。艱難、汝を玉にする。怯懦を退ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心。



卒業おめでとう  
高等学校三年主任 中部 幸成

ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活の中に、たくさん思い出が詰まっていることと思います。

君達と過ごした時間を振り返りながら、楽しかったこと、辛かったこと、いろんなことを思い出している、君達がパワーのある集団であったということに改めて気づきました。新型インフルエンザの猛威に不安を抱えながらも、現地で一人の罹患者も出さなかった北海道研修旅行、受験勉強との両立に苦心しながらも、完成度の高いパフォーマンスを披露した体育祭の応援合戦、あいにくの雨に見舞われながらも、全クラスが完売させることのできた模擬店、どの思い出も、君達の本番での強さを実感させられるものばかりです。これから、君達は様々な進路に向かいますが、持ち味のパワーを発揮すれば、恐れるものはありません。社会に出ると、現実には屈しなければならぬことも増えますが、君達なら、その中でも力を発揮できると信じています。もしも、弱腰になったときは、この3年間の思い出を出してください。君達の成功を心より祈っています。

### 事業所体験

10月20日、21日の二日間、3年生は福山市内の四十三事業所にご協力いただき、「事業所体験学習」を実施しました。キャリアアッププロジェクトの一環として導入されたこの体験的な進路学習も早いもので、今年で十一回目となりました。

当初は高等学校での行事でしたが、数年前より中学3年生での行事に移行しました。これは、本校が進めるキャリア教育を中高六年間で考えた場合、なるべく早い段階での職場体験が望ましいと判断したことによります。今年も普段の学校生活では得ることができないものを体験できたと思います。なお、学年の動きとしては、一学期から総合学習の時間を利用し



説明を受ける本校生徒（福山海上保安署にて）

### 研修旅行

平成22年度中学校2年生の研修旅行（12月1日（水）～12月4日（土））は、例年どおり「東京研修」で実施いたしました。ただ内容につきましては、毎年学年の担当者（旅行業者）と打ち合わせを繰り返し検討しており、その結果「国際交流」と「ディズニーマカデミー」を旅程に盛り込みました。年度当初から中学校2年生また中学校においても最大の行事となる研修旅行に向けてプログラムを組み「キャリア教育」と「国際交流」の視点から「総合的な学習の時間」

て生徒の仕事観を高めることに努めてきました。自分が就きたい仕事は何か？から始まり、適性検査や面談などを通して体験したい事業所を決めました。

その後、お世話になる事業所への電話かけや事前訪問などを生徒自身が行うことにより、生徒の意識は更に高まっています。

今まで体験したことがない緊張感の中、思うようにいかず、事業所の方々にはご迷惑をおかけしたと思います。しかし、親切丁寧に接していただいたおかげで、生徒もできる限り頑張り、充実感いっぱい体験を終えて帰ってきました。このような行事が毎年実施できるのも、各事業所の方々のご協力があるからこそと感謝しております。大変お世話になりました。ありがとうございます。

体験後の発表会や感想文では、社会人になることの大変さを感じると同時に、保護者への感謝の気持ちを新たに生徒も多くいました。そして自分の将来のために、今何をすべきかと考えた生徒が多かったように思いました。このように、例年以上に生徒にとって忘れることができない行事となりました。今後の進路決定に向けて、良いスタートが切れたと思います。（中学校3学年）

「国際交流」では、班別でヨーロッパ・アジア・アフリカ・南米からの留学生と平日都内で行動を共にして交流を図りました。事前の調べ学習の成果もあり、それぞれの国の特色（気候や文化・料理・名産など）を話題にして移動中も話の盛り上がりがあったようです。生徒たちも担当の留学生も別れ際は名残惜しそうにしていました。

### 一つになれた文化祭

中学校1学年で特に印象に残った行事をあげるとすれば、文化祭です。我々学年団の教員の思いは、5クラスの生徒全員をステージにあげて、大合唱を披露したいというものでした。練習は9月1日から各クラスで毎日放課後に行ないました。発表する曲は二曲。一曲目は音楽の授業で練習していた曲、A・D2組は「Let's search for tomorrow」B・C・D1組は「たいせつなもの」でした。これらの曲は、すでに歌詞も覚えていたので、練習しやすかったのですが、問題は二曲目でした。アバの「ダンシングクイーン」という英語の歌を全員で歌うという非常に高いハードルを越えなければならなかったからです。中学1年生の夏休み明けという時期は、まだアルファベットを覚えて短く文を少しづつ読み始めたくらいです。それを、英語で合唱するわけですから大変です。とにかく毎日、各クラスCDデッキを教室に持って行って曲を流しました。声を出そうにも覚えられないことには出せませんから、メロディーと歌詞を少しずつ頭にに入れていきました。

本番の二週間前から、全体練習に入りました。教室でわりと大き



の方々のゲスト（来園者）をお招きするにあたっての心遣いに感謝しました。私たちの見えるところで、また見えないところで、ゲストのためにさまざまな工夫や気遣いを実践していることを学習することができ、日本のテーマパークにおいて唯一勝ち組で居続けられる理由が解ったような気がしました。生徒たちも「あいさつ」の大



中学校1年生全員による大合唱（本校体育館にて）

な声を出せていたので、生徒もそれほど危機感も持っていなかったのですが、実際体育館で歌つてみると、まったく後ろまで声が届きません。声を出していない人が少しでもいると全くだめなんだというところに気づき、生徒の目の色が変わってきました。何度も何度も歌い直し、英語の歌がうまく歌えないところは、英語の先生に指導してもらいました。そして、本番2日前のリハーサルの歌を聞き、今回の発表が成功することを確信しました。

本番では、かなり緊張していた様子でしたが、良い発表をしてくれたと思います。この合唱を通して、生徒たちは、これまでにない達成感と自信を得たようです。今後の生徒たちのさらなる頑張りを、そして様々な場面で活躍してくれることを期待します。（中学校1学年）

切さを改めて実感してくれていたようで、終わりのあいさつはとて大きな声と笑顔でしっかりとしてくれていました。その他には国会議事堂での模擬国会や都内企業・文化学習を行いました。そしてもちろん研修だけでなく、楽しい思い出もたくさん作ってくれたと思います。浅草・東京タワー・ディズニーマカデミー・お台場など班別の自由行動を通して、友情も深まった様子でした。また、引率者一同たくさんのお土産を抱えて帰路につく生徒たちの様子を見て、うれしく思いました。（中学校2学年）